

名古屋外国語大学海外派遣プログラム成果報告書

2023 年 12 月 10 日

学部・学科名 世界教養学科

担当教員氏名 ヴァミューレン服部美香

1. 区分	中期留学
2. プログラム名称	世界教養学科中期留学
3. 渡航先国名	オーストラリア
4. 派遣期間	2023 年 8 月 27 日 (日) ~ 2023 年 11 月 20 日 (月) 86 日間
5. 派遣先教育機関名	グリフィス大学
6. 参加学生数	14 名
7. 派遣目的	語学研修に加え、インターンシップ準備講座、ホームステイプログラムなどで英語運用能力を高める。インターンシップで仕事として専門性の高い会話力を鍛えるとともに多文化・多民族社会の中でどのように生きていくのかという将来のビジョンや自分のコンフォートゾーンが広がることを目指す。
8. 派遣内容	世界教養中期留学プログラムは、9 週間の語学研修と約 2 週間のインターンシップを含む 3 ヶ月間の留学プログラムである。ブリスベンのグリフィス大学 (GELI) で習熟度別英語クラスに分かれて集中的に英語を学び、その後、オーストラリアで働く上での注意事項の周知や企業研究を行う 1 週間のインターンシップ準備コースを経て、2 週間のインターンシップに挑戦する。このインターンシップでは、ストレスの多い環境での作業に適した専門性の高い英会話スキルを鍛えるとともに、職場内でのコミュニケーションの取り方、職員の方々の職業観・ライフスタイルについても学ぶことが期待される。

9. 成果	<p>ブリスベンのグリフィス大学 (GELI) の習熟度別英語クラスで集中的に英語を学んだ。文章を読んでディスカッション、文法、語彙力強化、ライティングなど多岐に渡る充実した内容であった。また、多国籍のクラスメート（韓国、中国、ベトナム、タイ、マレーシア、モンゴル、ペルーなど）から各国の文化や習慣だけでなく、彼らの学ぶ姿勢、人生観などからも多くの学びがあったようである。1 週間のインターンシップ準備コースでは、オーストラリアで働く上での注意事項の周知や企業研究をし、2 週間のインターンシップに備えた。現地企業での約 2 週間のインターンシップでは、ストレスの多い環境での作業に適した専門性の高い英会話スキルを鍛えるとともに、職場内でのコミュニケーションの取り方、職員の方々の職業観・ライフスタイルについても学んだ。卒業後、社会に出る前に、職業観・人生観について見直す大きなきっかけとなったようである。多文化・多民族化が進むブリスベンでは多文化共生を体験する機会が多く、異なる文化背景を持つホストファミリーと過ごす時間は生の英語に触れる貴重な機会となり、また、多文化・多民族社会の中でどう生きていくのかという将来のビジョン、そして自分のコンフォートゾーンが広がる研修という当初の目標を遼に超える満足度の高い研修となった。</p>
10. 備考	

以上

世界教養学科 中期留学に参加して
藤沢 里緒 (2023 年度参加)

私は約3ヶ月間オーストラリアのブリスベンで留学をしました。この中期留学に参加した理由は、オーストラリアという多様な文化が混在する環境で自分の価値観を広げたかったことと、就職活動を控える中で少しでも働くことへのイメージをつけておきたいと思ったからです。

この中期留学では、語学学校で約2ヶ月間授業を受け、1週間のホスピタリティ研修を受けた後に約2週間のインターンシップを行いました。クラスメイトは中国人やインドネシア人、モンゴル人、ペルー人など多種多様で最初はリスニングに苦戦しましたが、カリキュラムが一通り終わる頃にはみんなでお菓子を持ち寄ってパーティーをするくらいまで仲が深まりました。ホスピタリティ研修ではオーグスラングや接客業で使えるフレーズなどを学びました。その後のインターンシップでは語学学校に配属され、受付として来客対応や生徒データベースの入力、その他庶務を行いました。スタッフの方々が気さくに話しかけてくださってとても楽しく働くことができましたし、レセプション業務の楽しさに気づくことができ、就職活動の参考になりました。留学中にホストファミリーが変わったり、ホストマザーとトラブルになったりして時には涙したこともありましたが、今ではそれらすべてが自分にとって貴重な経験になったと思います。現地のコーディネーターの方がいつでも親身になって相談に乗ってくださるので、参加するか迷っている人も安心して挑戦してみてください。